

## 朝礼 校長講話（10月15日）

朝晩、めっきり涼しく、涼しくというよりは肌寒く感じる季節になってきました。今日もこうして見てみると、冬服を着ている子がだいぶ増えてきたように思います。今は、夏服から冬服への移行期間ですので、その日の天候や自分自身の体調で、どちらがいいか自分で選んでくれてかまいません。今週はテストもあります。体調管理・健康管理に気をつけてください。

話は変わりますが、先日、前期が終わりました。前期が終わったといっても、長い休みがあるわけではないので、みんなからすれば、前期の通知表を担当の先生からもらった、ぐらいの感覚しかないかもしれませんが、その通知表のことを少し話したいと思います。通知表にはみなさんが勉強をどうがんばっているか、また勉強以外のことはどうかなどが記されているものです。先生たちはみなさんを毎日見ることで、それを記録し評価しています。評価のしかたにはいろいろあって、一番分かりやすいのは数字による評価です。これまで50点くらいの点を取っていた子がテストで60点をとれば「よくがんばったね」と声をかけます。反対に70点くらいを取っていた子が60点だとしたら、「どうしたんだ」と心配します。こうやって数字で評価するものがあります。しかし、それだけではありません。提出物や授業中の発言や忘れ物などのいろいろなものも評価に関係してきます。

また、授業以外のところでは、みなさんの様子や表情などからその意欲や決意を感じることができます。例えば、今日の朝礼で、みなさんが教室から体育館に入ってくる様子を見ていました。すると、2年生がどの学年よりも早く体育館にやってきて、いち早く整列しこの落ち着いた雰囲気をつくり出してくれました。先ほどの委員会委員長の認証もそうですし、先週の生徒会執行の子もそうですが、学校中のあらゆるところで、いよいよ2年生がその中心となって引っぱっていく時期になってきました。

そんな自覚や決意をその様子から感じる事ができた月曜日の朝でした。